八重山労働基準監督署発表
平 成 ２６年 ５月 １２日

【照会先】
八重山労働基準監督署
署　　長 比嘉 健三
労災･安衛課長 島袋 剛
電話：０９８０（８２）２３４４

# 死亡災害３年連続ゼロ

## ― 平成２５年の八重山地区における労働災害発生状況 ―

八重山労働基準監督署（署長：比嘉健三）は、八重山地区における平成２５年の労働災害発生状況（確定値）を次のとおり取りまとめました。

１．労働災害発生状況の概要

（１）全業種の死亡者数は３年連続で「ゼロ」を継続しています。

（２）全業種の休業４日以上の死傷者数は前年の５２人から２人減少で５０人となっています。災害が減少したものの５０人台の大台で推移しています。（過去３番目に多い）

（３）業種別では、接客娯楽業で１４人（うち１２人が旅館業）と最も多く発生しており、建設業で７人、保健衛生業で６人、農業で５人の順に多く発生しています。

（４）事故の型別では、「墜落・転落」災害（１５人、うち５人が建設業、３人が接客娯楽業）、「転倒」災害（９人、うち３人が保健衛生業、２人が商業と接客娯楽業）、「動作の反動、無理な動作」（腰痛など）災害（８人、うち５人が接客娯楽業）が多く発生しています。

２．八重山労働基準監督署の今後の取組

八重山労働基準監督署では昨年５月に策定された第１２次労働災害防止計画（平成２５年度～平成２９年度）に基づき下記対策に重点的に取り組み、事業場に対して自主的な安全管理を指導します。

（１）接客娯楽業、保健衛生業に対して自主的安全衛生活動の取組みの促進及び転倒災害や腰痛災害の防止対策の徹底

（２）建設業を中心に墜落・転落災害の防止対策の徹底

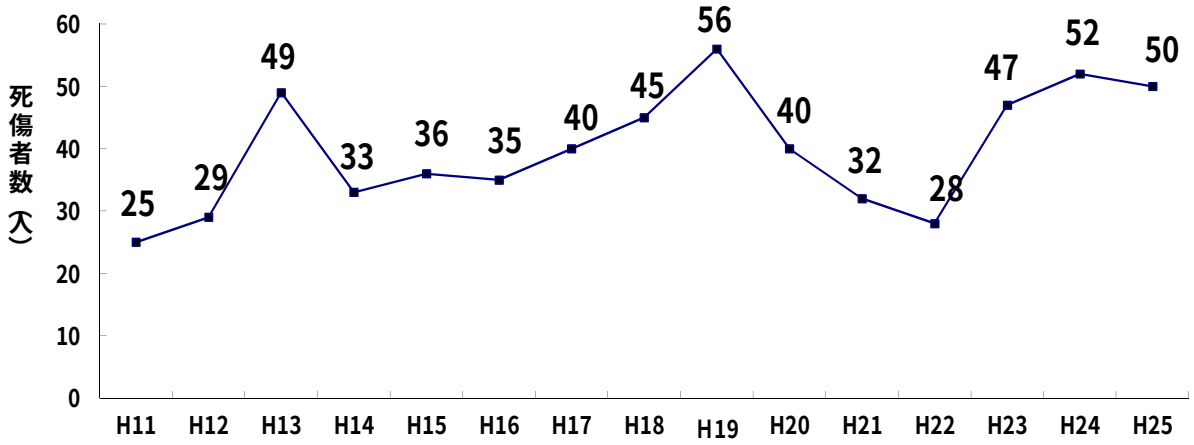
## 平成２５年の八重山労働基準監督署管内における労働災害発生状況（確定値）

### １．労働災害の概要

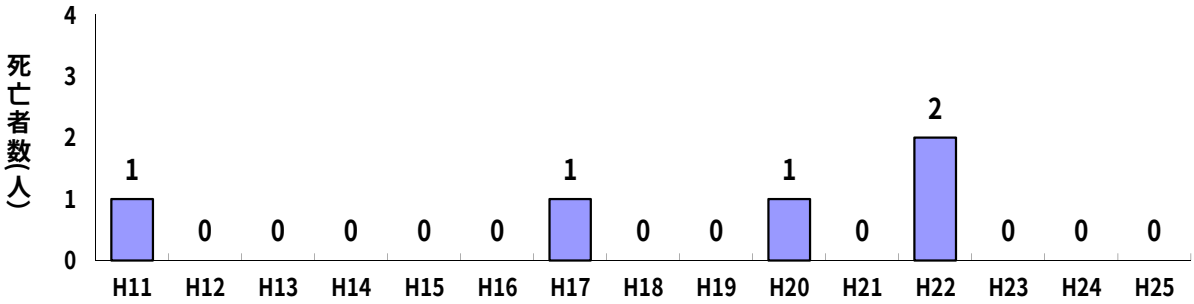
八重山労働基準監督署管内における、休業４日以上の労働災害による死傷者数は、第１図に示すとおり、中長期的にみると３０人～４０人台の間で推移していたが、平成１９年に５６人で過去最多となり、その後減少したものの、平成２３年から2年連続して増加した。平成２５年は５０人で前年より２人減少した。

死亡者数については、第２図に示すとおり３年連続で０人となった。

第1図　年別労働災害発生状況(全産業)




第2図　年別死亡災害発生状況(全産業)




| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全国 | 死亡者数 | 1,992 | 1,889 | 1,790 | 1,658 | 1,628 | 1,620 | 1,495 | 1,436 | 1,357 | 1,268 | 1,075 | 1,195 | 1,024 | 1,093 | |
| | 死傷者数 | 137,316 | 133,948 | 133,598 | 125,918 | 125,750 | 122,804 | 103,397 | 97,653 | 121,356 | 119,291 | 105,718 | 107,759 | 111,349 | 119,570 | |
| 沖縄 | 死亡者数 | 14 | 10 | 11 | 9 | 11 | 10 | 7 | 14 | 9 | 6 | 14 | 12 | 9 | 7 | 6 |
| | 死傷者数 | 702 | 736 | 760 | 722 | 742 | 811 | 827 | 721 | 894 | 945 | 848 | 903 | 927 | 999 | 987 |
| 八重山 | 死亡者数 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 死傷者数 | 25 | 29 | 49 | 33 | 36 | 35 | 40 | 45 | 56 | 40 | 32 | 28 | 47 | 52 | 50 |
| 年 | | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |